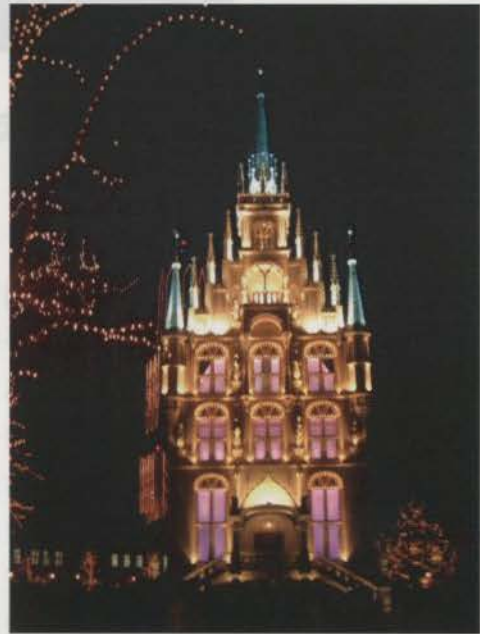


光市医師会報

平成 15 年 10 月～12 月号

No. 357



平成 15 年カウントダウン (ハウステンボス)

兼 清 照 久 撮影

光市医師会

追 悼



故 福本壽雄先生 御略歴

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 昭和 2 年 | 釜山にて生まれる（大島郡出身） |
| 昭和 26 年 | 米子医学専門学校卒業 |
| 昭和 34 年 | 九州大学より医学博士授与 |
| 昭和 36 年 | 光市浅江、大谷医院勤務 |
| 昭和 38 年 | 光市島田、福本医院開業 |
| 平成 2 年 | 光市医師会会長
(2 期 4 年) |
| 平成 13 年 | 山口県選奨受賞 |
| 平成 15 年 11 月 26 日 | 逝去 |



弔辞

光市医師会長
前田昇一

本日、ここに謹んで、故福本壽雄先生のご霊前に光市医師会を代表して弔辞を捧げ深く哀悼の意を表します。生者必滅とは申しますが、先生の突然のご逝去の報に接し、誠に痛恨の極みでございます。

先生は、8年前より二度にわたり大病を克服され、気力、体力の続く限り医師として職を全うされ、その生き方を身をもって私どもにお教え頂きました。この夏に職を辞されたと聞き、先生のお話でもお伺いしたいと思っていた矢先のことで未だ信じ難く残念でなりません。ご家族の皆様のお悲しみは如何ばかりかご推察申し上げます。

先生は、昭和2年に朝鮮釜山で生をうけられ、激動の昭和20年に平城医学専門学校に入学され、終戦後、昭和26年、米子医学専門学校を卒業され医師となられ、さらに昭和34年九州大学医学部で博士号を授与されました。その後、昭和38年、光市島田で内科小児科医院を開業されました。地域にあっては、町の先生として親しまれ、又、永年に渡り学校医として、殊に光市学校保健会会長として、又、医師会にあっては、理事、副会長、会長としてエネルギーにご指導を頂き、地域医療に多大な貢献をな

さいました。又、社会奉仕活動としてもロータリアンとしてその会長も務めご活躍されました。

酒を楽しみ、酔えばでる歌と踊りは今もまぶたに浮かびます。平成9年に発刊された先生の自分史「福寿草」で、その巻頭に“寒い冬につつましやかにそっと咲く可愛い草花のイメージが好き・・・”と記されています。人々から「福先生、福先生」と親しまれ愛された先生でした。先生の数々のご功績は、光市医師会にとっても、未永く忘れられない財産として継承されていく事と思えます。心より感謝し、心よりご冥福を、お祈り申し上げ、さらにご遺族の皆様の今後のご平安を切にお祈りして弔辞と致します。

弔辞

光市長
末岡泰義

本日ここに、元光市医師会 会長 故 福本壽雄 先生の告別式が執り行われるにあたり、謹んで哀悼の意を捧げます。

世の常理と理解しながらも、多大なご功績に比べ、76歳という、まだまだ早い、先生のご逝去の報に接し、深い悲しみに包まれるばかりです。

最近、先生は体調を崩され、療養中であるとお聞きしておりましたが、いずれ お元気な お姿に お目にかかれるものと確信しておりました。

先生ご自身も 回復への意欲を燃やされ、また、ご家族の皆様も温かい看護を続けてこられました。しかし、その甲斐もなく、天界に旅立たれました。残されたご遺族の

方々の嘆きや悲しみは、いかばかりかと、ご心中をお察しいたし、心からお悔やみを申し上げます。

思えば、平成13年11月に山口県選奨を受賞され市長室へ受賞報告に元気な姿で、来られた時の在りし日の先生の微笑みが、昨日のことの様に思い出されます。

先生は、大島郡のご出身で昭和26年官立米子医専、現在の鳥取大学をご卒業され、昭和36年に来光。大谷医院に勤務をされ、昭和39年4月に光市島田1丁目に福本医院を開業され、主に内科、小児科を専門とされ、市民の医療と健康管理のため卓越した技術と識見、そして慈愛にみちた温容をもって診療にあたられました。

また、先生は、子ども達が大好きで、多年にわたり島田小・中学校の学校医を勤められるとともに、市が実施しております予防接種や診療業務に、自ら積極的に協力していただくなど、児童生徒の健康管理に数々のご尽力をいただいたところでもあります。

こうした傍ら、光市医師会の理事はもとより、副会長を10年、会長を2期4年歴任されました。

また、先生は早くから高齢化社会の到来を予見され、元気老人対策をはじめとする老人保健事業の推進に心血を注がれるなど、本市の地域医療へのご功績も誠に大きなものがあります。

特に、会長時代には、「昭和18年、太平洋戦争の真っ只中、光市制施行と期を同じくして、人々の健康を願って、わずか10名の会員により発足した光市医師会の足跡と諸先輩方のご功績を振り返るために」と光市医師会創立50周年記念事業として、記念誌の発行を手がけられるとともに、行政と医

師会との連携による保健事業の推進にご尽力をいただきました。こうした数々のご功績により、平成5年には光市制50周年表彰を、平成13年には山口県選奨を受賞されるなど、多くの受賞の栄に輝かれたのであります。このように申し上げれば限りもなく、借別の情はつきませんが、ここに在りし日の温容を仰ぎつつ心からご冥福をお祈りいたしますとともに、先生が想いを寄せられた光市民の健康とご遺族の皆様方の前途に限りないご加護を賜りますようお願い申し上げます。お別れの言葉といたします。福本先生、どうぞ安らかに眠りください。

弔辞

友人代表(河内山医院)

河内山清

足の運びがかなり不自由になったとは聞かされて居ましたがこんなに早く訃報に接しようとは思っても居ませんでした。

賑やか好きの君だったのに今は静かにひっそりと寂滅為楽の道を踏みしめて逝こうとされているのですね

「ひそかなる心を守りておわりけむ この世のきわに言うこともなく」と云う短歌を思い出します。きっとその様な安らかな御最期だったのではないのでしょうか。

40年余りも経ってしまいましたが同じ時期に開業し年齢も余り離れて居ないせいもあってはじめて随分親しくさせて貰いました。世間知らずだった私は若くして既に所謂「粹人、いきな人」であった君から色々なこと、諸々の遊びを指南して貰って、東と西、前とうしろ、表と裏返し、甘いも酸っぱいも、硬いものと軟らかいものなどな

ど心のレパトリーを広げることが出来たのでした。

故人の挑発に乗って若気のいたり、踊りの師匠を招きカッコ悪い者共 3~4 人集って手拭を頭の上にのせたり、かぶったり、踊りの練習に励んだりサボったりしたことを思い出します。

福本先生の医師会や地域社会、老人福祉介護等に向かったの貢献度は誰知らぬ者は居ません。先生のサービス精神はおそらく天性のものであったと思います、それに努力の磨きが加わり所を得、時を得て光を放ち宝石の様に輝きはじめました。それは比類なくひたすらで熱烈なものでありました。

愛称「福さん」・・・あらゆる会合で、旅行のバスの中で、遠征の電車の中でその豪快闊達な笑い声はどれだけ心を和ませ楽しませ、明るくして呉れたことでしょうか。何時迄も心に残って消えることはありません。先生は又こよなく酒を愛した人です、いやが上にも席を盛り上がらせる人です、お座敷は今や最高潮、「あらっ」彼の声が聞こえなくなった・・・、と見ると居眠りぐっすりおねんねです。目を覚ましてもう 10 杯もう 20 杯、二次会、三次会は宴会の内に入りません、ここからが福さんの真骨頂真価が発揮されるのです、終わりなき戦いのはじめなのです。

飲み足り飲み余り飲みあふれた人生、恐らく悔いは残って居ないだろうと思います。誠にうらやましい人生ではないでしょうか。医師会の副会長、会長を長年にわたって務められた激務や内に秘められたストレスの蓄積等の為でしょうか何度も大きな手術を受けられ、その度に不死鳥の様に蘇って来られた先生、

もう充分だよくやって呉れたよ、と神様、佛様のお許しが出たのでしょうか、再び帰らぬ人となって了はれました。

この上なく楽しく価値ある人生を君は歩まれたのです。長い間ご苦労様でした、みんながお世話になりました、有難うございました。

どうぞ安らかに眠りください。

何時か又何処かで又お会い出来るものと思っ

て居ます。

親愛なる

福本壽雄先生の御霊前へ

平成 15 年 10 月度定例理事会

日時:平成 15 年 10 月 14 日(火)19:30～

場所:光市医師会事務局

議題:

I. 報告事項

- ① 郡市医師会会長会議・医師連盟執行委員会
(9/11:前田会長) 資料 1-①
- ② 広域予防接種運営協議会
(9/18:河村理事) 資料 2
- ③ 郡市医師会介護保険担当理事協議会
(9/25:河村理事) 資料 3
- ④ 郡市医師会学校保健担当理事協議会
(10/2:河村理事) 資料 4
- ⑤ 郡市医師会妊産婦乳幼児担当理事協議会
(10/9:梅田理事)

II. 協議・承認事項

- ① 10 月度月例会と学術講演会
(前田会長・山本理事)
- ② 第 109 回周南医学会準備状況
(山本理事)

資料 1-① 郡市医師会会長会議(前田)

日時:平成 15 年 9 月 11 日(木)15:00～

場所:山口県医師会館

1. 都道府県医師会会長協議会(8/19)の報告

① 主たる報告事項

厚労省公表の MEDIAS を参考資料とした 14 年度医療費の動向について。

外科・整形外科に強いマイナス影響。

② 主たる協議事項

(イ) 規制改革の動向

(ロ) 中医協の医療経済実態調査は的確な実態を示しているのか否か。

調査に応じた医療機関は有効回答数が 50～60%で業績の良いところが多いため、現実と乖離。正しい実態を知るためにも、日医の ORCA プロジェクトへ多くの会員の参加が必要。

2. 県民公開講座の開催(9/23)

県民の健康と医療を考える会の主催で、『県民の望む医療を考える』をテーマとした。

3. 郡市医師会からの意見・要望

① 特定疾患療養指導料は、複数 医療機関の間で重複算定されることはあり得るし、今のところ算定可のはずと思うが如何か?(下松)

② イラク復興医療支援について(下松)

日医で支援と決議されている。

③ その他

SARS 問題の啓蒙について(山口)

second opinion について(防府)

性同一性障害者の医療機関受診への要望(徳山)

県医活動(特に医政) と会員意識の乖離について(宇部)など

資料1-② 山口県医師連盟執行委員会 (前田)

報告・協議事項

1. 日本医師連盟執行委員会(8/31) は、西島英利氏(日医常任理事) を参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補者として決定。
また、衆議院議員選挙に向けて、四師会で政策協定として次の4点を自民党公約に反映させるように確認した。
 - ① 社会保障は平時国家安全保障として位置づける。
 - ② 公的医療保険制度の三原則(国民皆保険制度、フリーアクセス、現物給付)を堅持。
 - ③ 医療非営利原則の堅持。
 - ④ より安全かつ質の高い医療を提供するための財源確保を要望。
2. 自民党総裁選挙は小泉以外の候補者で自主投票
3. 若手医師との医政座談会が8月8日、県医師会館で行われた。参加者は若手医師 8名、県医 6名。

資料2 広域予防接種運営協議会(河村)

日時:平成 15年9月18日(木)15:00~

場所:山口県医師会館

内容:

1. 市町村における児童・生徒の予防接種(広域外)
ポリオ集団 47/53 市町村 → 新ワクチン(不活化) できるまで個別接種を2~3年待つ
二混 集団 31/53 → 広域化をすすめる
日脳 集団 31/53
※ 個別になって接種率の低下が気になりである。
2. 広域インフルエンザ予防接種、接種期間について
11月1日より開始(本年度の決定しているところはそのまま行う)
ワクチン効果は最大3ヶ月~6ヶ月で、10月開始は早すぎる。
終わりは、2月28日まで。
3. 料金統一化がすすめば、国保連合会が一括支払システムで行う。
4. 料金決定体系
ワクチン料にのみ消費税をかけているが、手数料を含めた全体に消費税をかけるのが望ましい。
(※学校保健や妊産婦~2ヶ月までの自由診療分は現行では非課税)
5. 接種医の研修
県医師会で11月に一度、全体研修を実施する予定。

資料 3 郡市医師会介護保険担当理事協議会 (河村)

日時:平成 15 年 9 月 25 日(木)15:00~

場所:山口県医師会館

内容:

1. 平成 14 年度地域医療・介護保険・福祉事業の報告
2. 平成 15 年度地域医療・介護保険一福祉事業の事業計画
3. 中四国医師会連合介護保険研究会報告
認定審査会委員の委嘱状況について(アンケート調査)
今後は合併問題もからむことになる。
地域リハビリテーション中核医療機関が 9 医療圏中 6 圏域で指定されている。
4. 介護保険制度の推進状況(介護保険室長 大窪正行)
山口県の居宅サービスは計画水準を上まわって増加し施設サービスは計画水準とほぼ同様である。
5. 介護認定新ソフトについて
医師の意見書の重要性に疑問がある。

資料 4 郡市医師会学校保健担当理事協議会 (河村)

日時:平成 15 年 10 月 2 日(木)15:00~

場所:山口県医師会館

内容:

1. 中四国学校保健担当理事連合会議の報告
結核検診の各県の状況。
学校検診時に過去の経過チェック機能はどうか?
教職員のメンタルヘルス障害を、校医としてどうするか?
SARS 問題での対応。
児童生徒の受動喫煙防止について(統計の精度は?)
2. 中四国学校医大会
3. 平成 15 年度学校医研修会
11 月 30 日(日)14:00~
ブールをめぐる諸問題について
4. 結核検診マニュアル
問診票に校医欄をつくり、さし戻す。(現状を知りたいため)特に 2 週間以上の咳・たんの項目
5. 学校心臓検診システム
精密検診受診票 4 部複写「医師会・学校(校医)・本人・医療機関」
6. 都市医師会助成金の減額
7. その他
 - ① 予防接種広域化
 - ② 健康増進法に日医認定健康スポーツ医が担う人として入っている。
 - ③ 学校医は産業医や健康スポーツ医も取得することが望ましい。
相談医として、メンタルケア・整形外科・産婦人科・皮膚科にも加わって欲しい。

平成 15 年 11 月度定例理事会

日時:平成 15 年 11 月 10 日(月)19:30～

場所:光市医師会事務局

議題:

I. 報告事項

- ①郡市医師会産業保健担当理事協議会
(10/16:光武理事) 資料 1
- ②第 146 回定例代議員会
(10/23:松村副会長・藤原予備代議員) 資料 2
- ③光市休日診療所運営協議会
(10/30:前田会長・松村副会長・光武理事) 資料 3

II. 協議・承認事項

- ①11 月度月例会と学術講演会(前田会長・山本理事)
「呼吸器感染症診療ガイドラインについて」
川崎医科大学呼吸器内科講師 二木芳人先生
- ②第 109 回周南医学会準備状況(山本理事 他)
- ③消防法改正に伴う施設立入検査について

資料 1 郡市医師会産業保険担当理事協議会

(光武)

日時:平成 15 年 10 月 16 日(木)

場所:山口県医師会館

協議事項:

1. 第 25 回産業保険活動推進全国会議の報告

この会議に出席した山口県医師会の三浦理事より報告があった。

- ①小規模事業所の健康管理と産業保健活動の推進
- ②産業医共同選任事業(各県の事例)
- ③地域産業保健センターの活性化と資質の向上
- ④事業所の産業医選任に際しての日医認定産業医の扱い
- ⑤産業保健センターにおける職場のメンタルヘルス対策の促進と過重労働による健康障害防止対策等の施策
- ⑥学校現場における学校医と産業医の役割

2. 山口県における産業保健活動の推進について
(山口県産業保健推進センター 田村所長)

本年は事業所の加重労働に重点をおいて 10 会場において講習会をおこなった。従業員が 50 人以上の企業はもちろん産業医をおかなければならない。また 50 人未満の企業においても産業医を置くように努力すること『努力義務』。地域産業保健センターのコーディネーターの研修を行い、意識を高めていきたい。事業主セミナーを年 50 回以上行う、出席者は衛生管理者が主体を占めるがいろんな職種の方が出席される。これからも、別紙のようにセミナー、加重労働産業医研修会などを通しての産業医研修、実地研修を行っていく、これまでの参加者数は 264 名である。

資料2 第146回定例代議員会(松村、藤原)

日時:平成 15年10月23日(木)14:50~

場所:山口県医師会館

藤井会長は、「医療は社会福祉の一部である」との基本的な考えを述べられ、この2年間医療費の窓口負担の増額などにより、患者の受診抑制がますます進んでいることを指摘され、県医師会としても、積極的に医政活動をすすめる姿勢を示されました。さらに、広報活動にも力を入れていくことを強調された。

1. 審議議案

①報告第1号:日本医師会臨時代議員会(10/12)

の報告

②報告第2号:平成15年度山口県医師会上半期

の事業報告

③承認第1号:平成14年度山口県医師会決算

→承認

2. 追加審議

藤井会長から要望書が提出され、承認された

内容:次期診療報酬改定について

①国民により良質で安全な医療を提供するための診療報酬の引き上げ

②医療経営の安定と基盤整備のための税制改革

提出先:今回の総選挙後、直ちに山口県選出の国会議員に向けて提出

3. 郡市医師会からの質問と応答

①新医師臨床研修制度の対応について(下関市)

平成16年4月から新制度がスタートするが、臨床研修病院単独での対応には限界がある。県医師会としても「関連医療機関」での研修も検討してみたいとのこと

②特定疾患治療研究事業の一部改訂による「受給者証」交付の遅れについて(下松市)

この10月からの変更に対し、県の対応が遅れた為、現場の医療機関窓口で混乱が生じた。県との連絡、対応の遅れについての経過説明がなされた。

③軽度発達障害児(学習障害LD、注意欠陥多動性障害ADHD、高機能自閉症)の対応について(小野田市)

平成15年度から、文部科学省は、特殊教育という視点を特別支援教育という視点に方針転換をした。特殊学級→特別支援教室 盲・聾養護教育→特別支援学級と変わった。特殊学級は平成19年度までになくなることになる。今までの隔離から集団の中の個別支援に変わっていきこうとしており、今後これを支える人的資源の不足が心配される。医師会としては学校保健活動を制度化していくという方針で検討していきたいとのこと。

④時局講演会「これからの医師会像を探る」

講師:日本医師会常任理事 西島英利

来年の参議院選挙に日本医師連盟から立候補されることが決まり、又、このたび中医協の医師会側の委員にもなられた。先日(10月22日)行われた中医協総会の内容についての説明と今後の日本医師会の活動指針について講演された。内容は県医師会新春号に掲載予定。

資料3 光市休日診療所運営協議会(光武)

日時:平成 15年10月30日(木)14:00~

場所:光市総合福祉会館

①休日診療所の現状について

光市休日診療所が平成13年4月にオープンして2年半になる。現在、順調に運営されている。13年度より14年度の方が患者数は多くなってきている。1日あたりの患者数は平均40人をこえており、市外の方、大和町の方も多く利用さ

れている。

②14年度の休日診療所患者状況調べより

14年4月から15年3月までに休日診療所を受診された数は2955人だった。前年より213人増加している。この間の休日数は72日で、1日あたりの患者数は平均43人だった(前年37.5人)。地区別にみると浅江、光井、室積で全体の55%を占めている。

③平成14年度を受診者2955人の内訳

内科系 2058人、外科系 870人
室積613人、浅江532人、光井500人、島田211人、上島田167人、周防113人、牛島2人、熊毛103人、市外433人『内 大和117人』
年齢別内訳 6歳未満616人(20%)、70歳以上205人(6.9%)、一般2134人(72%)

④来院状況

救急車による搬入 8人
二次搬送 有り51人(1.7%)、搬送先は9割以上が光市立病院だった。

⑤平成15年度上半期(15年4月-9月)の状況
来院患者数 1296人(1日平均38人) 昨年同期 平均32人

15年上半期で目立っているのは6歳未満の患者数が計489人と昨年同期(260)の1.9倍に増加している事だ。

⑥正月、ゴールデンウィーク、盆の患者数の動向

14年暮れより15年正月の4日間の平均来院数は1日平均85人と忙しかった。インフルエンザや風邪がはやった事と関係あると考えられる。1月3日はこれまで最高の105人方が来院した。5月のゴールデンウィークの平均患者数は、14年が53.2人、15年が43.5人。盆の(8月14,15日)の平均患者数は、14年が31人、15年が48人であった。

平成15年12月度定例理事会

日時:平成15年12月2日(火)19:30~

場所:光市医師会事務局

議題:

I. 報告事項

- ① 光市立病院勤務医懇談会
(11/11:前田会長) 資料1
- ② 周南3医師会役員会
(11/12:前田会長 他) 資料2
- ③ 第3回周南地区結核対策委員会
(11/10:河村理事) 資料3

II. 協議・承認事項

- ①職員ボーナスの件(藤原理事)
- ②第109回周南医学会準備状況(最終回)
(山本理事 他)
- ③その他
 - ・ 光市医師会忘年会(12/19)
 - ・ 新年互礼会及び光市医師会臨時総会
(1/20)

平成 15 年 10 月度月例会

日時:平成 15 年 10 月 28 日(火)19:00~

場所:光商工会館

I. 学術講演会

特別講演

「スタチン、どのように使用していますか？」

講師 都志見病院 循環器内科部長
松田康雄 先生

II. 月例会

① 会務報告

医事紛争担当理事協議会の報告

担当理事 藤原邦彦 先生



② その他

特別講演

「スタチン、どのように使用していますか？」

講師 都志見病院 循環器内科部長
松田康雄 先生

スタチンは高脂血症から動脈硬化の治療にその使用は拡大され始め、市場でも最も多く使用される薬剤となった。しかし我々は本当にスタチンを理解し、正しい使い方をしているだろうか。今回はどのようにスタチンを使用するかについて述べる。

1. スタチンはコレステロールを下げることにより冠動脈疾患のリスクを減少 高いコレステロール値を下げることにより冠動脈疾患のリスクを下げることは4 S試験を始めとして多く報告されている。現在日本動脈硬化学会でも治療目標値は一次予防で 240、二次予防で 180mg/dl としている。

2. スタチンはコレステロールが高くなくても動脈硬化に有効 心筋梗塞の患者の半数はコレステロールが正常と言われている。コレステロールは正常に近い値でもスタチンを投与すれば冠動脈疾患の頻度は減る。最近のHPS試験でコレステロール値は正常でも即ち値に関係なくスタチンはハイリスク患者の脳卒中、心筋梗塞の頻度を減らすと報告されている。

3. なぜスタチンは動脈硬化に有効か? 現在動脈硬化の病因には脂質説に加え炎症説の2つがある。即ち動脈硬化病巣の破裂、進展にはコレステロールと同様あるいはそれ以上にそれを取り込む炎症細胞の活性化が強く働いている。スタチン

はコレステロールを下げるとともにこの炎症を抑制することが知られている。スタチンにより心血管事故を抑制した過去の報告で、同時に炎症マーカーであるCRPの低下が見られており、現在これらを裏づける大規模試験が進行中である。こうしてみるとスタチンはコレステロール降下剤から抗動脈硬化剤として、また心事故だけでなく、脳卒中、および動脈硬化が関与した他の血管疾患にも有効と思われる。

4. 疾患におけるスタチンの位置づけ スタチンはアスピリン、ACE阻害剤と並んで冠動脈疾患の予後改善への有効性は確認されている。これら3剤は慢性狭心症の患者では各々30%心筋梗塞などの心事故発生率を減少さすと言われている。この3剤にβ遮断剤を加え、全体では75%のリスクの減少率と計算している報告もある。病態に基づく冠動脈疾患の治療は確実に進歩してきたと実感される。

5. スタチン使用の実践 まずスタチンは二次予防としてはコレステロール値に関係なく使用、一次予防としては糖尿病、高血圧を含む多くの危険因子を持つ患者ではコレステロール値に関係なく使用の傾向にある。しかしリスクの少ない一次予防の患者では冠動脈疾患頻度の低い日本では必ずしも欧米のデータに影響される必要はない。日本でのデータが十分でない現状から少々高値は許容できると思われる。高齢者にも有効であるが医療効率を考慮しての使用が望まれる。また女性では更年期以降、コレステロールは高値になるがそれがリスクになることについては否定的な報告が多い

スタチンは非常に有効な薬剤で、その使用の範囲は拡大してきつつある。今後はいかなる患者に本当に使用しなければならないか、上手な使用が望まれる。

平成 15 年 11 月度月例会

日時:平成 15年 11月 25日(火)19:00~

場所:光商工会館

I. 学術講演会

特別講演

「呼吸器感染症診断ガイドラインについて」

講師 川崎医科大学呼吸器内科

二木芳人先生

II. 月例会

「防火対象物に対する消防法の改正」について

光地区消防組合担当職員

臨時理事会

周南医学会について

12月7日午前11時~12時 柳田邦男先生を迎えて『先生を囲む会』を持つことについて

特別講演

「呼吸器感染症診断ガイドラインについて」

講師 川崎医科大学呼吸器内科

二木芳人先生

はじめに

2000年春に日本呼吸器学会から公表された「成人市中肺炎診療の基本的考え方」、いわゆる“市中肺炎ガイドライン”を皮切りに、その後、現在までに幾つもの感染症に関するガイドラインや指針が発表されている。今まで我国の医療現場にはそぐわないと考えられていたこれらのガイドラインが、何故この時期に相次いで作製されたかを、その背景因子を考察する事で考え、そしてその内容についても概説する。

ガイドラインの背景にあるもの

ガイドラインのニーズが高まった背景には1) 耐性菌感染症の増加、2) 新薬開発の頓挫、3) 医療経済性の変化、などがある。耐性菌感染症はいまや市中急性呼吸器感染の分野でも重大な問題で、特に肺炎球菌の多剤耐性化は深刻な事態にあると言っても良い。従来であれば相次いで登場する新薬が、これら新しい耐性菌にも有効で、たちまち問題を解決してくれたであろうが、これも最近ではままならない。高価な新薬を積極的に使う事、感染症治療に長い時間をかける事なども、医療経済的に制約を受ける。

従って我々は、既に手持ちになっている抗菌薬を主に用い、より効果的かつ安全な感染症治療を考

えるべき時であると言える。ガイドラインはその一助となる事を目的として作製されたと考えていただきたい。

ガイドラインの概説

幾つかのガイドラインの中から、呼吸器学会の市中肺炎ガイドラインを例にとって、その内容を解説する。図1-1に示すフローチャートに従って肺炎の診療をすすめる様式であるが、まず重症度から肺炎患者は2群に分けられ、重症例ではエンピリック・セラピーがすすめられている。又、中等症以下の肺炎は、細菌性と非細菌性に区別され、夫々に適した薬剤選択がすすめられているが、本ガイドラインの最大の特長はここにある、表1-2に示すような項目で両者を鑑別するわけだが、ここには先に述べた耐性の問題がからんでいる。すなわち非定型病原菌に有効なマクロライドやテトラサイクリンが市中肺炎で最も重要な原因菌である肺炎球菌に極めて高い耐性率を示す我国では、この様な方式で第一次選択すべき薬剤を区別せざるを得ないからである。

この鑑別法は、非定型肺炎において最も頻度の高いマイコプラズマでは90%以上の確診が得られる良い方法で、ぜひ試してみられる事をおすすめしたい。ただ、マイコプラズマ以外の非定型肺炎での有用性はやや低い。最近では、迅速診断法も幾つか応用可能となっているが、マイコプラズマに関しては本鑑別法に勝るものはない。しかし、他方優れた迅速診断キットもあり、レジオネラや肺炎球菌の尿中抗原診断キットは、極めて有用なので、早期の保険適用の獲得が望まれている。ただし、古典的な迅速診断法である喀痰グラム染色と検鏡も、近年その重要性や有用性が見通されつつある事も、つけ加えておきたい。

ガイドラインの改訂に向けて

本ガイドラインは作製されて3年が経過し、既

に改訂作業が始まっている。幾つかのポイントがあるが、その中の1つに初版では不十分であった具体的な抗菌薬の選択と使用方法がある。例えば細菌性肺炎の軽症例では、経口治療薬としてペニシリン系薬がすすめられているが、肺炎球菌やインフルエンザ菌のペニシリン耐性率の高い現在では、これでも有用性が期待出来るかどうかは疑問である。おそらく現行の標準的投与量では不十分であると考えべきである。欧米では経口ペニシリンでも1日量で2.0g以上が用いられており、この様な高用量は日本人では安全性面から服用出来ないであろう。そうするとセフェムやマクロライドも高頻度耐性の現在、我々が使用出来る有用な経口抗菌薬は、ニューキノロン系や新しく発売されたケトライド系抗菌薬と言う事となるが、経済的な問題や耐性化の懸念から、本ガイドラインではそれらの第一次選択薬としての使用はすすめていない。確かに抗菌薬の頓用、乱用が耐性を助長する事は事実である。しかし、症例を選択し、積極的にこれらの優れた薬剤を応用する事も、この耐性化の時代には必要である。中等症以下の肺炎で、リスク・ファクター、例えば高齢者や呼吸・循環器系の副作用を有する例などで、ニューキノロンやケトライド系薬が第一次選択薬として用いられるように、次のガイドラインでは改訂されるであろう。

さらに抗菌薬を使う場合は、その作用機序に応じた投与量や投与法の工夫も大切である。これらも改訂版には詳細な解説が掲載されるはずである。

おわりに

本年公表された最も新しいガイドラインに「成人気道感染診断の基本的考え方」があり、この中には風邪症候群や気管支炎などの上気道感染症に対する抗菌薬使用が触れられている。おそらく肺炎に倍する抗菌薬の処方がこれらの感染症に

なされて来たと思われるが、原則的にウイルス感染が殆んどを占めるこれらには、抗菌薬の投与の必要性は低い。不必要な抗菌薬の使用を抑制する事も、耐性菌防止の上では重要な項目である。

図 I-1 市中肺炎診断と治療のためのフローチャート

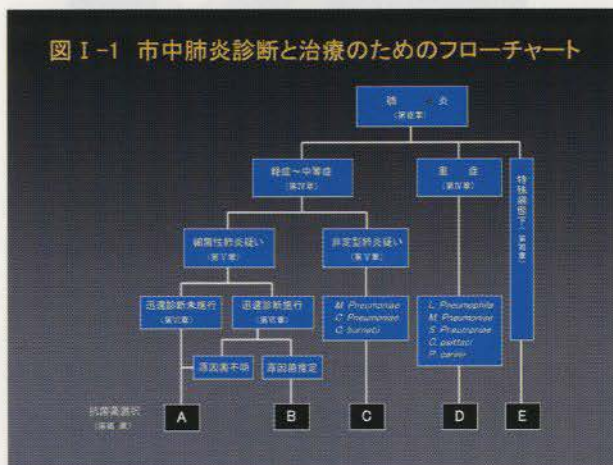


表 I-2 非定型肺炎群と細菌性肺炎群の鑑別(第V章)

鑑別	非定型肺炎疑	細菌性肺炎疑
症状・所見	3項目以上	2項目以下
検査成績	5項目以上	4項目以下

- 症状・所見
1. 60歳未満である
 2. 基礎疾患 がない あるいは軽微
 3. 肺炎が家 族内・集団内で 流行している
 4. 頑固な咳 がある
 5. 比較的徐 激がある
 6. 胸部理学 所見に乏しい
- 検査成績
7. 末梢白血 球数が正常である
 8. スリガラ ス状陰影またはskip lesionである
 9. グラム染 色で原因菌らしいものがない

平成 15 年度光市医師会忘年会

日時:平成 15 年 12 月 19 日(金) 19: 30~

場所:敦煌(周南市)

- ① 黙祷 故福本壽雄先生
- ② 会長挨拶(前田昇一先生)
- ③ 乾杯(中村國雄先生)
- ④ 傘寿の記念品贈呈(河内山清先生)
- ⑤ 新入会員紹介
- ⑥ 手品(藤村 朴先生)



多田良和先生



前田昇一会長



田中博幸先生



中村國雄先生



林先生、田中先生、竹中先生、守田院長



河内山 清先生



藤村 朴先生

第109回 周南医学会

日時:平成 15年 12月 7日(日) 8: 30~

場所:光市民ホール

主催:周南医学会 引受:光市医師会

I.第一部 一般演題

1.~22.演題

II.第二部 市民公開講座

—医療に癒しと安らぎを—

① 講演

「豊かな生、豊かな死のために」

作家 柳田邦男 先生

② ハーブ演奏

「あなたのこころ色は、いのち色して
ますか……」

ハーブ奏者 池田千鶴子 先生

市民公開講座

①講演 柳田邦男 先生



前田会長挨拶



守友将貴(6歳)ひとみ(4歳)ちゃん



一般演題



NPO 法人「周南いのちを考える会」との
懇談会



サイン会



②ハーブ演奏 池田千鶴子 先生



廣田光太郎(6歳)理子(4歳)ちゃん



閉会の挨拶

実行委員長 山本憲男先生



山口県医師国保組合

「学びながらのウォーキング」大会

日時:平成 15年 11月 23日(日)10:00~

場所:山口 県スポーツ文化センター、長門 峡

① 講演

萩焼き作家 第13代田原陶兵衛先生

② 講義

「ウォーキングの効用とその実践について」

山口大学整形外科 河合伸也 教授

③ ウォーキング

バス 5 台に分乗して長門峡へ移動し約 200 人の列で歩いた。入り口より約 3 キロ歩いて、鈴ヶ茶屋にて川原で弁当を食べた。紅葉橋を経て終点の竜宮淵までまた 2 キロ歩き、待機していたバスに乗って帰った。(兼清)



新入会員紹介

< A会員 >

多田クリニック 院長

多田良和 先生



生年月日 昭和 29 年 6 月 27 日

本籍 宇部市

出身校 山口大学(昭和 56 年卒)

診療科目 内科、小児科、外科

主な職歴

昭和 56 年 健和総合病院

昭和 58 年 山口大学第一外科

昭和 59 年 小野田市立病院

昭和 62 年 山口大学第一外科

昭和 64 年 宮城県立瀬峰病院

平成 2 年 アメリカ留学

平成 4 年 光市立病院

平成 15 年 陽光会 光中央病院

平成 15 年 10 月 多田クリニック開業

このたび光市立病院を辞し、平成 15 年 10 月 6 日より島田に開院いたしました。

開院に際しましては、前田会長をはじめ、多くの先生方のお世話になりまことにありがとうございました。また開院までの半年ほどの間、光中央病院におきまして河内山先生、丸岩先生はじめ職員の方々からも多くのことを学ばせていただき感謝の気持ちで一杯です。今後ともいろいろご迷惑をおかけするかと思いますが、暖かいご指導のほどをよろしくお願い申し上げます。

彦星会 ふなつ眼科 光分院

田中眼科 院長

田中博幸 先生



生年月日 昭和 40 年 11 月 26 日

本籍 長崎県

出身校 大分医科大学(平成 2 年卒)

診療科目 眼科

主な職歴

平成 2 年 長崎大学第二外科

平成 7 年 九州大学眼科

平成 9 年 麻生セメント飯塚病院

平成 10 年 福岡県立嘉徳病院

平成 12 年 国立小倉病院

平成 14 年 鞍手町立病院

平成 15 年 彦星会 ふなつ眼科

平成 15 年 12 月 彦星会ふなつ眼科

光分院 田中眼科開業

このたび木園に眼科診療所を開設いたしました。

平成 2 年に大分医科大学を卒業し、長崎大学第二外科(消化器)に 5 年間在局、その後、九州大学眼科に入局しました。九州大学に在局中は、白内障手術を中心に緑内障、網膜硝子体手術を行っていました。近年、白内障手術は小切開での手術が確立され、大部分が問題なく手術が終わられるようになってきました。しかし、成人の中途失

明の上位にランクされる糖尿病網膜症など眼底疾患に対しては従来から行われている網膜光凝固(レーザー)だけでは視力維持が困難な場合があります。このような患者さんには硝子体手術が有効な場合があります。これからも白内障や硝子体手術を積極的に行い、患者さんのQOLの向上に努力していきたいと思っています。

先生方にはいろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

<B会員>

光市立病院 第2外科医長

田中俊樹先生



生年月日 昭和46年9月9日

本籍 萩市

出身校 山口大学(平成9年卒)

診療科目 外科

主な職歴

平成9年 山口大学第一外科

平成9年 済生会下関病院

平成10年 山口大学第一外科

平成12年 萩市民病院

平成12年 山口大学第一外科

平成14年 済生会山口病院

平成15年8月1日より光市立病院第2外科医長として赴任致しました。平成9年

に山口大学を卒業後、第一外科(現、器官制御医科学講座)に入局し、呼吸器外科を中心に消化器外科・心臓血管外科を含む一般外科の研修を行って参りました。

今回光市立病院の外科が新スタッフで立ち上がるという重要な時期にお声がかかり、非常に光栄である反面その責任の重大さを感じながら赴任して参りました。ただ守田信義院長は私が入局したときの助教授であり、竹中博昭外科部長は大学で数年間ご指導を頂き、林雅規第3外科医長は私が指導医であったことから、赴任当初より違和感なく仕事をさせて頂き、今では外科のチームワークは他の病院に負けないと自負しております。

私達外科スタッフに求められるものは沢山ありますが、まずは竹中外科部長が掲げる安全で確実な手術と術後管理・診療レベルの向上を早期達成目標とし、私個人としては竹中外科部長をサポートして私達外科スタッフが常に最高のパフォーマンスを発揮できるように、またコメディカルを含めた外科チーム医療の更なるレベルアップと新しい手術手技・診療情報を少しでも多く導入し患者様にご提供させて頂くことを目標として、全力で診療に従事する所存でございます。

外科スタッフが全て入れ替わりましたために不慣れな点も多く、光市医師会の諸先輩方には何かとご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、これからも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようにどうぞ宜しくお願い申し上げます。

光市立病院 第3外科医長

林 雅規先生



生年月日 昭和46年5月13日

本籍 福岡県宗像市

出身大学 山口大学(平成10年卒)

診療科目 外科

主な職歴

平成10年 山口大学第一外科

平成11年 山口県立中央病院

平成13年 山口大学第一外科

「患者の信頼を目標に」

私は平成15年8月より光立市病院に赴任することとなり、伝統ある光市医師会に入会させていただくこととなりました。光市には初めてやってまいりましたが、瀬戸内海国立公園を一部に含む、穏やかな瀬戸内式気候と聞いております。本年、結婚いたしました私としては新婚として最高の場所になるものと確信いたしております。

私は、平成10年に山口大学第一外科に入局し、昨年の春から今年の夏までは大学院で動物実験を行っておりました。具体的には、虚血性心疾患に対する血管新生の実験をしており、心筋梗塞ラットに骨髄細胞を投与し血管新生の誘導を起こすものでした。実験中は非常に孤独であり、患者との対話などは当然ありませんでした。この度、その実験もようやく結果が出まして、ふたたび外科の研修をさせてもらうこととなりま

した。大和町と合併した、新しい光市の高度先端医療を担った光市立病院で研修させていただけることを光栄に存じます。今後は諸先生方々のように患者に信頼される医者を目指してまいりますので、知識も経験もまだまだ不足な私ですが、ぜひとも先生方のご指導・ご鞭撻のほどをよろしくお願ひもうしあげます。

新日本製鐵株式会社

ステンレス事業部光製鐵所診療所

加藤滝治郎先生

生年月日 昭和50年2月27日

本籍 佐世保市

出身校 産業医科大学(平成12年卒)

診療科目 内科

主な職歴

平成12年 産業医科大学呼吸器科

平成13年 新日鐵八幡記念病院

平成14年 産業医科大学呼吸器科

平成15年度下松・光医歯会合同コンペ成績表

日時:平成 15年 10月 19日(日)

場所:周南カントリークラブ

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	宮本正樹	98	25	73
準優勝	森本博士	83	9	74
3位	兼清照久	88	14	74
4位	西辻知生	92	17	75
5位	海永泰男	90	15	75
6位	諏訪高志	91	15	76
7位	村谷英治	98	22	76
8位	三輪 淳	106	30	76
9位	守田忠正	92	15	77
10位	下村明生	94	17	77
11位	森本雄一	92	14	78
12位	原野有正	94	16	78
13位	河崎要助	99	20	79
14位	横山 宏	89	10	79
15位	平田万三志	93	14	79
16位	市原義郎	100	20	80
17位	諏訪一雄	98	18	80
18位	斉藤良明	107	26	81
19位	澄川英一	99	17	82
20位	竹中博昭	118	36	82
21位	竹中智昭	110	27	83
22位	藤村 朴	100	16	84
23位	松村寿太郎	112	28	84
24位	赤崎信正	103	18	85
25位	丸岩昌文	122	36	86
26位	秀浦信太郎	105	16	89
27位	中島洋二	112	22	90

協議方法;オフィシャルHC

同ネット;年齢

光医歯会ゴルフコンペ成績

日時:平成 15年 10月 19日(日) 場所:周南カントリー

順位	名前	G r o s s	H C	N e t
優勝	兼清照久	88	14	74
2位	海永泰男	90	15	75
3位	諏訪高志	91	15	76
4位	森本博士	83	7	76
5位	守田忠正	92	15	77
6位	河崎要助	99	20	79
7位	横山 宏	89	10	79
8位	平田万三志	93	14	79
9位	斎藤良明	107	26	81
10位	竹中博昭	118	36	82
11位	竹中智昭	110	27	83
12位	松村寿太郎	112	28	84
13位	丸岩昌文	122	36	86
14位	藤村 朴	100	10	90

競技方法;持ちHC

同ネット;年齢

…あとかき…

平成 15 年度も 5 万人のカウントダウンと花火にてあつけなく終わりました。来る新年がい
い年であるように祈ります。(文責 兼清)

発行所	光市医師会
	TEL(0833)72-2234
発行者	前田昇一
編集者	会報委員会
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社